

宮崎県 高校入試情報

令和7年度宮崎県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問数は5問、小問数は27問でほぼ例年並み。
- 大問1は小問集合、大問2は三平方の定理と空間図形、大問3は式による説明、大問4は関数と図形、大問5は相似の証明(全文記述)を含む三平方の定理の問題が出た。
- 昨年に出題形式が大きく変わり、会話文が多く活用的な問題が増えている。
- 作図も、半円形のピザを6等分するという日常場面での問題だった。
- 今年は記述問題も増えた。それに加えて、新傾向の活用問題にも対応できるように、例題を解いて、しっかり対策しておきたい。

★宮崎県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ 読解力・表現力をみる問題の出題

新研究で対策！

・問題文をしっかりと読みとり、理由や考え方を説明する必要がある、読解力・表現力をみる問題がよく出題されている。落ち着いて取り組めるよう、解答形式に慣れておく必要がある。

- 「数値を示そう！データを読みとって説明する問題」(p. 172～173)、「書くことに慣れよう！いろいろな記述問題」(p. 174～175)で、様々なパターンに取り組むことができます。

■ 三平方の定理を利用した問題の出題

新研究で対策！

・体積や面積などの三平方の定理を利用した問題が例年出題されている。円周角の定理と組み合わせた問題もよく出題されるので、対策が必要である。

- 「チャレンジ！平面図形と空間図形の総合問題」(p. 186～187)で、三平方の定理を利用する問題を集中強化することができます。

会話文の問題が多いので、問題文からの的確に必要な情報を読みとる練習をしておきましょう。



★宮崎県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容				
	正の数・負の数	●	●	●	●
	文字と式	●			●
	方程式			●	
	比例と反比例			●	
	平面図形	●	●	●	●
	空間図形	●	●	●	●
	データの分析と活用	●		●	●
	2年内容				
	式の計算	●	●	●	●
	連立方程式	●	●		●
	1次関数	●	●	●	●
	図形の調べ方	●			●
	三角形	●			●
	平行四辺形				
	確率	●	●	●	●
	データの比較と箱ひげ図		●	●	
	3年内容				
	式の計算	●			●
	平方根	●	●		
	2次方程式	●	●	●	●
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
	相似な図形	●	●	●	●
	円の性質	●	●	●	●
	三平方の定理	●	●	●	●
	標本調査			●	
出題形式別の傾向	大問数	5	5	5	5
	小問数	26	24	25	27
	記述問題				
	図形の証明(説明)	1	1		1
	その他の説明・証明など	1	1	1	2
	立式・解法の過程の記述	1			1
	作図(図形)	1	1	1	1
	作図(グラフ)				

★新研究で出題した宮崎県の入試問題(令和7年度)

p.13大問2(1),p.49大問4,p.61大問1(1),p.61大問5,p.69大問3,p.91大問4,p.151大問2(1),p.187大問1